

平成24年度佐倉市当初予算(案)の概要

1. 財政見込み

・市税総額はほぼ横ばい △0.5 億円

個人市民税は年少扶養控除及び特定扶養控除の上乗せ部分の廃止により増額(+6.0 億円)、法人市民税は減少(△0.3 億円)。固定資産税は評価替えにより減少(△4.5 億円)、都市計画税(△0.8 億円)、その他の税(△0.9 億円)

・地方交付税などの国、県からの交付金は増加 +1.3 億円

・国の地方財政対策を踏まえ、地方交付税は増加(+2.5 億円)、地方譲与税などその他の各種交付金は減少(△1.2 億円)
・臨時財政対策債は前年同額の 21 億円を見込む

・義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は減少

・生活保護費(+0.9 億円)、障害者自立支援関係扶助費(+0.8 億円)などの経常的扶助費は増加しているが、子ども手当の制度改正による減少が大きく(△6.4 億円)扶助費全体でも減額となった(△4.2 億円)。ただし、子ども手当の国庫負担が大幅に減少したため、扶助費に対する一般財源の負担は 0.7 億円の増加となる。
・人件費は、議員共済会負担金の減などにより減少(△0.4 億円)
・公債費は当該年度の償還額が減少(△1.9 億円)

・その他

・財政調整基金現在高は H23 年度末見込みで約 67.2 億円。H24 年度当初予算では財政調整基金からの繰り入れは約 19 億円となり、平成 23 年度 6 月補正時の繰り入れより約 1.6 億円の増となる。
・中長期的には、少子高齢社会の進展、公共施設改修サイクル等の影響により、歳入減、歳出増につながるような財政の構造的要因が存在している。

2. 基本方針

・持続可能な佐倉市財政の確立を目指す

・厳しい財政状況を踏まえ、持続可能な財政の確立を目指し、歳入規模に合わせた予算編成とする。経常的経費のうち義務的(準義務的)経費は所要額を計上し、通常一般経費は、前年度予算額を要求上限として精査して査定
・臨時的経費は、実施計画に計上された事業を基本とし、小中学校の耐震改修など、災害対策を最優先としたが、これまでと同様に福祉、教育に重点を置き、当該年度に実施すべきものを厳選

・災害対策の推進、高齢者福祉、子育て支援など福祉及び教育の充実、都市計画道路など都市基盤の整備を進める

・学校施設の改築・耐震化の推進(設計は小学校 6 校、中学校 2 校 工事は小学校 5 校、中学校 2 校) 旧川崎銀行佐倉支店の耐震診断
・防災アセスメント調査、防災井戸整備(13 ヶ所)、防災行政無線(5 ヶ所)、防災ラジオ購入、放射性物質対策、千成地区雨下水道整備、臨時災害 FM 放送などの防災対策事業
・子育て支援として、民間保育園施設整備助成事業、家庭児童支援事業(虐待防止)、学童保育所(王子台小)の整備、また、ファミリーサポートセンター事業、子ども医療費助成、感染症予防対策なども継続して実施。
・高齢者福祉では、後期高齢者人間ドック助成の新設のほか、敬老祝金、高齢者クラブ活動支援、はり・きゅう・マッサージ等助成を継続して実施。
・勝田台・長熊線(志津霊園関連)、馬渡・萩山線、太田・高岡外 2 路線などの道路整備を進める。
・その他新規事業として、国保の人間ドック助成、コミュニティカレッジ施設整備(25 年度開設)

・ 予算要求等の状況を随時公表し、市民からの意見を求める

- ・ 予算編成についての意見公募を実施し、要求事業について公開説明会を開催

・ 財政健全化を進める

- ・ 当年度の地方債発行額を適正な範囲として、地方債残高の減少を図る。(△11.5 億円)
- ・ ファシリティマネジメントを継続し、施設整備や施設管理などの効率化、経費削減を図る。

3. 予算規模

* () は平成 23 年度 6 月補正後予算比増減

- ・ 一般会計 423 億 2,600 万円 (△0.6%) 前年度比△2.5 億円の減額
- ・ 特別会計 310 億 2,573 万 3,000 円 (+6.3%)
 - ・ 国民健康保険会計、介護保険会計は給付費の増加に伴い増
 - ・ 後期高齢者医療会計は、被保険者の増、下水道事業は改修費など事業費の増に伴う増加

4. 一般会計の主な事業から

① 議会・総務費関係

- ・ 議会公用車管理事業(1,482 千円)・議長車をリース方式により更新する(p7)
- ・ インターネット等広報事業(3,304 千円)・ホームページウェブサーバの更新(p8)
- ・ 臨時災害 FM 放送事業(10,193 千円)・大災害が発生した際の臨時放送局の開設準備(p8)
- ・ 防災対策計画事業(14,607 千円)・防災アセスメント調査及び総合防災ハザードマップ作成等(p9)
- ・ 防災施設整備事業(74,025 千円)・防災行政無線、防災井戸の整備、防災ラジオ購入等(p9)

② 民生費関係

- ・ 病児・病後児保育事業(7,400 千円)・病児・病後児の預かりを 9 月(予定)から開始する(p14)
- ・ 子ども手当支給事業(2,902,085 千円)・原則 3 歳未満 15,000 円、その他 10,000 円/月支給(p14)
- ・ 家庭児童支援事業(23,629 千円)・保護者の養育支援のためヘルパー等を派遣(p15)
- ・ 民間保育園施設整備助成事業(172,818 千円)・民間保育園への施設整備費補助金(p15)
- ・ 学童保育所施設整備事業(5,228 千円)・王子台小の空き教室に新規学童保育所の整備(p15)
- ・ 後期高齢者人間ドック助成事業(1,500 千円)・人間ドック費用の一部を助成 1 万円(p16)

③ 衛生費・農林水産業費・商工費関係

- ・ 子ども医療費助成(358,587 千円)・医療費の一部助成。内 56,020 千円が市費拡充分(p16)
- ・ 感染症等予防事業(任意予防接種)(163,710 千円)・子宮頸がん等ワクチン予防接種(p17)
- ・ 放射性物質対策事業(63,254 千円)・放射線量の測定及び基準値を超える学校等の除染経費(p19)
- ・ 佐倉フラワーフェスタ事業(563 千円)・国際ヘリテージローズ会議等にあわせて実施(p20)
- ・ 企業誘致事業(138,002 千円)・企業立地促進のための助成(p21)
- ・ 観光イベント事業(54,158 千円)・チューリップまつり、市民さくらまつり、時代まつり等(p21)

④ 土木費関係

- ・ 馬渡・萩山線道路改良事業(市道 I-23 号線)(36,701 千円)・路線測量、実施設計等(p23)
- ・ 太田・高岡線外 2 路線道路改良事業(17,310 千円)・市道 I-30 号線の予備設計等(p24)
- ・ 上座・青菅線道路改良事業(1,300 千円)・国道 296 号バイパスとの接続に伴う路線測量(p24)
- ・ 岩名運動公園拡張整備事業(234,440 千円)・グラウンド(人工芝の整備)、防球ネット設置等(p24)
- ・ 勝田台・長熊線整備事業(491,631 千円)・志津霊園関連の移転補償費等(p25)

⑤ 教育費関係

- ・ 小学校施設改築・改造費(667,299 千円)・佐倉小など 5 校の工事及び耐震補強設計 6 校(p27)
- ・ 中学校施設改築・改造費(390,060 千円)・上志津中など 2 校の工事及び耐震補強設計 2 校(p28)
- ・ コミュニティカレッジ施設整備事業(10,666 千円)・カレッジの開設準備(25 年度開設)(p29)